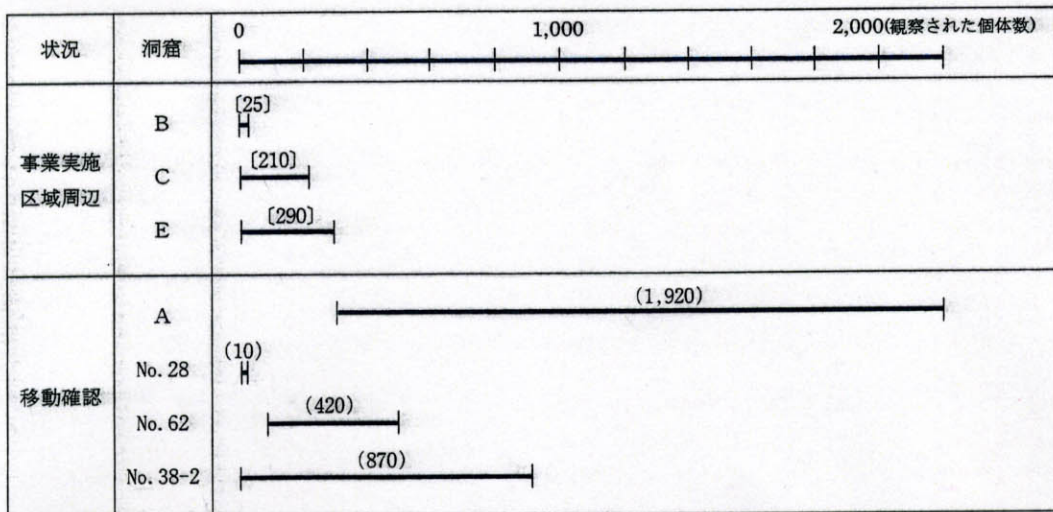


表-6.12.1.2(17) B、C及びE洞窟におけるヤエヤマコキクガシラコウモリの個体数

年	月	B洞窟	C洞窟	E洞窟	合計 <sup>注1</sup>
		成獣	成獣	成獣	
2002年	7	(0)	0	154	154
	8	(1)	152	199	352
	10	(1)	206	183	390
	11	(20)	57	289	366
2003年	1	(150) <sup>注2</sup>	(290)	8	— <sup>注3</sup>
	4	(0)	77	210	287
	5	(10)	68	146	224
	6	(5)	87	161	253
	7	(3)	97	176	276
	9	(5)	198	233	436
	10	(6)	206	255	467
2004年	1	(25)	(39)	(254)	318
	3	(1)	(200)	(110)	311
	5	(3)	80	170	253
	6	(3)	150	150	303

- 注1. B、CおよびE洞窟の個体数の合計は、3か所すべての洞窟でデータが得られた2002年7月以降の月について算出した。  
 2. 生息妨害による緊急避難場所としての一時的な利用と考えられる。  
 3. 生息妨害による緊急避難場所としての一時的な利用と考えられる2003年1月の個体数を除外した。  
 4. ( ) は目視数。

表-6.12.1.2(18) 事業実施区域の洞窟及びそこから移動が確認された洞窟におけるヤエヤマコキクガシラコウモリの個体数及びその変動幅(概数)



- 注1. E洞窟が発見された2002年7月以降の観測結果を基とした。  
 2. 事業実施区域及びその周辺の5洞窟については、生息妨害による緊急避難場所としての一時的な利用と考えられる2003年1月の個体数を除外した。  
 3. 夜間入洞時のデータは解析から除外した。  
 4. [ ] は個体数の最大値とした。  
 5. ( ) は個体数の変動幅